

## Ring Network

vol. 07  
2025 5 / 8

## 荒波と断崖の地で活躍！

北海道日本海沿岸の落石防護の最前線！

令和6年9月25日  
北海道現地調査会を実施

柔構造物工法研究会とエコ・パワーネット工法会の共催による「現地調査・講習会（北海道）」が、令和6年9月25日（水）に開催されました。JR札幌駅北口に集合した参加者45名は、バスで別府漁港と雄冬漁港へと向かいました。

別府漁港のリングネット  
落石防護柵を視察

別府漁港に設置されたリングネット落石防護柵の現地調査が行われました。高い急斜面に設置されていたため、ドローン撮影によってリアルタイムで調査を進めました。参加者は現地での説明を熱心に聞き、実際の施工状況や維持管理の課題について理解を深めました。

国道231号線沿いのリングネット・パワーネットを車窓から視察

移動中のバスからは、国道231号線沿いに設置されたリングネット落石防護柵やパワーネットの施工事例を視察。北海道特

有の厳しい気象条件に対応した設計・施工の工夫について説明がありました。

雄冬漁港のリングネット  
落石防護柵を詳細調査

雄冬漁港に設置されたリングネット落石防護柵の詳細調査を実施。現場での施工上の課題や、冬季の積雪・凍結に対応するための特別な対策について、活発な質疑応答が行われました。

講習会でさらに理解を深める

TKPガーデンシティ札幌駅前にて講習会を開催。現地で見学した施設の技術的背景や、北海道での柔構造物工法の特徴と今後の展望について、専門家による講演が行われました。

参加者の声

「実際の現場を見ることが、図面や資料だけでは理解できない施工上の工夫が分かった」「北海道特有の課題とその対応策について学ぶことができ、大変参考になった」「講習会と現地調査の組み合わせで、理論と実践の両面から理解が深まった」



別府漁港のリングネット

ドローン

リングネット



ドローン撮影を確認する様子

大型モニター



国道231号トンネル坑口周辺のリングネット

リングネット



ドローン撮影映像 上空から

リングネット



室蘭工業大学 小室教授の講演



国道231号雄冬漁港のリングネット

国道231号

## 研究会発足、そして大岡太郎会長へ

柔構造物工法研究会が発足してから27年の歳月が流れました。3年前に惜しまれながら逝去された初代会長の大岡伸吉氏の意思を継ぎ、その1年後に大岡太郎氏が新会長に就任しました。

&lt;故伸吉氏の座右の銘&gt;

「徳は本なり、財は末なり」

まず、何よりも徳の充実に気をつけられ、人はついてくる。人がついてくれば、自然と豊かになる。～徳が根本であり、財物は末端～



&lt;太郎会長のメッセージ&gt;

「現場を出発点に、技術を深堀」

原点を改めて認識する必要がある。

関わる人間の高い熱量は、時に理屈や制約を突破し、仕事を大きく動かす。このことを肝に銘じながら、これからの歴史を皆様とともに作っていきたい。



創設時の志を胸に、新会長のもとで将来へと歩みを進めています。

写真、メッセージは 東亜グラウト工業「65年の軌跡」より抜粋

## 維持管理マニュアル

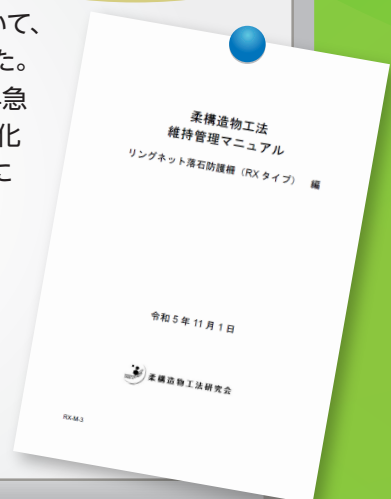
専門家から  
多彩な評価と提言

2023年11月に完成した、維持管理マニュアルについて、各界の専門家から幅広いフィードバックをいただきました。

砂防分野からは「インパクトバリアのマニュアルも早急な更新が望ましい」との提案が示され、実装技術の進化に合わせた包括的なガイドラインの必要性が浮き彫りになりました。

一方、治山分野からは「山岳地の構造物は必ずしも部材の部分交換が最適解ではなく、アクセス困難な現場では全面補修が効率的な場合もある」との現場視点からの実務的助言が寄せられています。

これらの貴重な意見は、次期改訂版への重要な検討材料として活用していく予定です。



## 強靱ワイヤーネットが土砂流出を防止

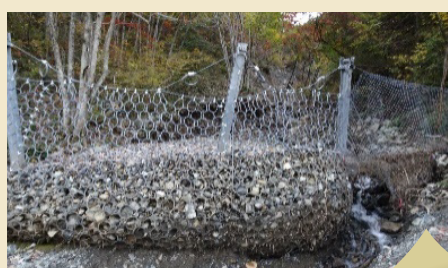
2023年12月、長野県白馬村の黒豆沢で土石流が発生し、八方尾根スキー場近郊のリゾートエリアで家屋が被災しました。この地域には多数のコテージが立ち並ぶ人気の観光地区が広がっています。

黒豆沢  
強靱ワイヤーネット(被災後設置)

R5.12 被災直後

長野県姫川砂防事務所発表資料より抜粋・追記

災害復旧における緊急対策として設置された強靱ワイヤーネットが真価を発揮しました。この防護システムは、初期設置後に発生した新たな土砂崩れを効果的に捕捉し、下流域への被害拡大を防止することに成功。迅速な対応と先進技術の導入が、二次災害防止の決め手となりました。



施工:北陽建設様

「令和7年定時総会」  
開催のご案内

本年度の定時総会について、下記により開催することと致しましたのでご案内申し上げます。皆さまお誘いあわせのうえ、ご出席願申し上げます。

- 日時 令和7年6月26日(木) 14時30分～(受付13:30～)
- 場所 主婦会館プラザエフ(東京都千代田区六番町15-1)  
会議室:8階スイセン
- 総会次第(議案)
  - 1号議案 令和6年度事業活動報告及び収支決算に関する件
  - 2号議案 令和7年度事業活動計画及び収支予算に関する件
  - 3号議案 会則改訂に関する件
  - 4号議案 令和7年度役員の内
- 懇親会 総会終了後地下2階クラルテにて行います。(立食方式)  
※エコ・パワーネット工法会との合同懇親会となります

## Ring Network

vol. 07  
2025 5 / 8

## 土砂災害の爪痕を乗り越えて

～広島県の防災最前線を巡る～

安全を守る先端技術が  
集結した現地調査会

令和6年12月6日、柔構造物工法研究会とエコ・パワーネット工法会の共催による「広島県現地調査・講習会」が開催されました。広島県北口に集合した参加者はバスで移動し、安佐北区三入南2丁目、森林管理署発注のリングネット落石防護柵（L1345m）を視察。続いて同区三入南1丁目のパワーネット施工現場も見学しました。

平成26年土砂災害から10年、  
復興の現場を訪ねて

その後、平成26年の大規模土砂災害から10年となる安佐南区の復興現場へ。当時の被害状況や復興過程の説明を受け、参加者は防災対策の重要性を再認識しました。

市営住宅の傍らに建つ慰霊碑の前では、参加者全員が黙祷を捧げ、犠牲者の冥福を祈りました。この静かな祈りの時間は、防災技術を学ぶ意義を改めて心に刻む機会となりました。

専門家による講演会で最新知見を共有

午後からは広島駅前前の会場にて、広島大学防災・減災研究センター長の海堀正博特任教授による「ハード対策への期待と住民からの過信にどう応えるか」と題した基調講演が行われました。また、エコ・パワーネット工法会の下条会長や柔構造物工法研究会の木村技術委員長らによる専門講演も続き、参加者は土砂災害対策の最新知見を得ることができました。定員40名の会場は満席となり、質疑応答も活発に行われた充実した一日となりました。



同区パワーネット



安佐北区南のリングネット



東亜グラウト工業より現地説明



慰霊碑周辺の現地説明板にて



広島大学海堀特任教授の講演

現場の  
声を聞く!～富山の守り手に学ぶ  
リングネット技術～

2025年4月23日(水)、富山県ダイイチ株式会社様にて出前講座を開催しました。県管理遊歩道にある「称名の滝」リングネット現場を視察、現地では長年の現場経験から生まれた様々な工夫をご説明いただきました。特筆すべきは、地域特有の積雪・雪崩対策として、冬季にリングネットを倒伏させている点です。視察後はダイイチ株式会社にて、会社概要、称名の滝リングネットの詳細解説、立山エリアでのリングネットの施工における維持修繕の工夫について座学形式で情報交換を行いました。



ダイイチ株長谷川様の現場説明



リングネット

積雪に踏ん張るリングネット  
雪崩に対応するため、最高規格の  
リングネットが施工されました。



偶発の遭遇 落石直径1.3m



ダイイチ様での情報交換

## 技術の粋を集結!

## ～柔構造物の未来を切り拓く、技術委員会活動報告～

会員支援ツールとして  
待望の概略設計ソフト登場!

東亜グラウト工業、技術委員会の木村委員長が中心となって開発してきた、柔構造物工法の概略計算ソフトを作成しました。

このツールは、リングネット落石防護柵とインパクトバリアの初期検討段階で威力を発揮します。想定される地形や落石・崩壊土砂の条件を入力するだけで、必要な構造規模や概算数量を短時間で算出します。

会員の皆様には、まず試験運用にて反響を伺う予定です。

概略設計ではありますが、工法比較のスピードアップを目指しています。技術提案や予備設計の効率化を願っております。

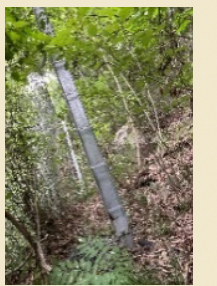
## (一社)森林コンサルタンツ協議会 現地研修会

令和6年11月15日、群馬県渋川市にて「柔構造物工法の設計と維持管理」をテーマに、国土防災技術(株)前橋支店の石井管理課長、当研究会の木村技術委員長が講師を務め、現地でのリングネット落石防護柵の視察と座学での講演を行いました。関東森林管理局、群馬県森林部、各コンサルタント会社等、総勢62名の参加で大きな反響をいただきました。

特に関東森林管理局からは維持管理マニュアルの追加入手リクエストがあるなど、柔構造物工法への関心の高さがうかがえました。現地視察では、群馬県の治山事業で設置されたリングネットの実例を見学。実際に社を守るために機能している施設の状況や設計上のポイントについて、詳細な説明がありました。



リングネット



## 編集後記

## Ring Network vol.7 お待たせしました!

1年間の長い沈黙をようやく破り、やっと! 皆様のお手元にお届けすることができました。事務局メンバー、反省の日々...申し訳ありません m(\_\_)m 再出発の今号はいかがでしたか? 皆様の温かいご意見・ご感想をぜひお聞かせください! 次号はもっと早くお届けすることをお約束します! これからもどうぞよろしくお願いいたします!

support@japan-ring.net

皆さまからのご意見・ご感想お待ちしております!

GEOBRUGG JAPAN  
リーダーシップの交代

約16年にわたりGEOBRUGG JAPANのゼネラルマネージャーを務められた西村氏が退職されました。昨年8月には工場の稼働を止めることなく柏市内への移転という難題を見事に成し遂げられ、西村氏のその手腕と長年のご尽力に感謝申し上げます。そして新たにゼネラルマネージャーに就任された鈴木氏のもと、新体制での生産を開始されています。会員の皆様には変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



西村様



GEOBRUGG JAPAN 新社屋・工場